

故郷「ひがしかわ」(東川町・写真の町)

ひがしかわ東京会 副会長 鈴木英樹



三つの「道」が無い町なのです、国道・鉄道・上水道、しかし三つの「道」が無い代わりに豊かな大自然があります、と松岡市郎町長は誇らしげに語ります。

毎朝あの雄大な大雪山(旭岳2291m)に見守られながら小・中学校に通った昔懐かしい大自然と田園風景を思い出しました。



現在の東川町は、統廃合され町の中心にあった本校は移転・新築され、斬新な建築デザインにより考えられた教室空間に注目が集まり、町外から教育関係者の視察見学が絶えないそうです。移転後の旧校舎には日本初の

本が今年4月出版されました。玉村雅敏・小島敏明(編著者) 吉田真緒(著者)、発行社/株産学社、この本を読んで頂けれ

ばきつと皆様にも東川町に興味をもって頂けるのではないかと思います。東川町は1985年「写真の町宣言」をしましたが、当初は町民もこの事業に対し懐疑的であったと言います。しかし30年前にまいた文化の種は、東川町の関係職員等のためまぬ努力により開花しようとしています。

毎年、「写真甲子園」全国高等学校写真選手権が開催され全国の高校生の最大のイベントとなり、この模様を映画化することになったのです。監督・脚本/菅原浩志、出演/秋野暢子、北見俊之、平祐奈、来年(H・29年)春制作完成、全国ロードショー予定です。皆さんご期待ください。東川町はさらに「写真文化首都」を宣言し、写真文化や国際交流を通じて、人と人を繋ぐ写真文化首都らしい町づくりに取り組んでいます。

皆様の温かいご支援を申し上げ、末文であります「北海道ふるさと会連合会」の益々の発展を祈念いたします。

創立30周年記念「ふるさと訪問の旅」

東京幌加内会 事務局長 川島武久



「東京幌加内会」は昨年創立30周年を迎え、記念行事として「ふるさと訪問の旅」を実施しました。8月1日の幌加内町・朱鞠内湖湖水祭にあわせ、8月1〜2日(1泊2日)の旅でした。参加者は20人。各人ふるさとへの熱い思いを抱いて幌加内町役場に集合し、バスで宿泊先の朱鞠内湖畔の「レークハウス」に到着。幌加内町長をはじめ町役場関係者と夕食しながら交流。その後、期待の日本最大の人造湖朱鞠内湖の湖水上の花火大会です。漆黒の闇に鋭い炸裂音が響き、上空に色鮮やかに花火の大輪がくつきり浮かぶ。都会近郊の花火大会と異なり、故郷の澄みき

つた空気と静寂の大自然の中での湖上の花火に一層感動する。「その夜の花火大会は私の生涯で一番素晴らしい花火でした。」と語る人も。翌日2日目は、バスで広い故郷幌加内町巡りです。



そばの花展望台

「そばの花」の展望台にのぼり、周り一面がそばの花絨毯に感じます。今や見渡す限りそば畑に変わっている風景を眺めながら、周りが水田や



朱鞠内湖を背景に

畑だった昔のふるさとを思い浮かべる。各人が生まれ育った各地域を訪れ、何十年かぶりに田舎の風景を見ながら目頭を熱くした方もいました。昼食は、地元の手打ちそばの店で「幌加内そば」を味わいました。このふるさと訪問の旅でお世話いただいた町関係者に感謝しながら、ふるさとをあとにしました。

営業種目

- | | |
|----------------|--------------|
| 高低圧電気設備設計施工 | 音響設備設計施工 |
| CVCF,UPS設備設計施工 | セキュリティ設備設計施工 |
| 空調設備設計施工 | 衛星放送アンテナ工事 |
| 防災設備設計施工 | 情報配線システム工事 |
| 自動制御設備設計施工 | 工事付帯設備工事 |



取締役会長 西澤章二
(東京中標津会・会長)

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-21-7
TEL 03-3738-2181 FAX 03-3738-2180

池田税理士事務所

税理士 池田俊一

うらかわ観光大使
(北海道ふるさと会連合会 監事)

〒160-0023
東京都新宿区西新宿7丁目16番14号ミクラ西新宿ビル五階
TEL 03-3361-5998 FAX 03-3361-6945